

令和4年度江田島市教育委員会経営計画

I 使命

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じ輝くことは、豊かな暮らしの基盤となる。

このため、学校教育では、児童生徒が生涯を生き抜く力、社会で活躍するために必要な資質・能力の育成を義務教育の使命とし、「確かな学力」「豊かな心」「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準の向上に努める。

また、生涯学習では、公民館活動などの社会教育をはじめ、スポーツ振興における普及・啓発活動や、文化・芸術・スポーツにおける学習機会の確保と社会教育施設の整備・充実に努める。

さらに、里海教育では、自然体験活動や探究活動など、自然に親しみ、自然に学ぶ場や機会の整備・充実に努める。

これらの理念を合わせることで、相乗効果を生み、「人が育ち、輝くまち」を目指す。

II めざす姿

【児童生徒像】

○生涯を生き抜く力である「知（確かな学力）」「徳（豊かな心）」「体（健やかな体）」がバランスよく育成されるとともに、それらを活用する力や社会性が育成されている。また、生命を尊び、自然を大切にし、郷土を愛する豊かな心が育成されている。

【学校像】

○組織的な学校体制のもとで、教職員を育成し、学校・家庭・地域の連携により、信頼される安全・安心な学校づくりを目指している。

【市民像】

○文化・芸術・スポーツ等の生涯学習活動において、市民一人ひとりが、生きがいを感じ、生き生きと暮らしている。

III 現状分析

【学校教育】

○教職員の懲戒処分については、令和3年度も発生していないが、不十分な教科指導及びテスト未実施・未返却事案等、懲戒処分につながりかねない事案が数件あった。

（令和元年度及び令和2年度は発生していない。）

○令和3年度江田島市小中学校学力調査の全国平均以上の平均正答率については、小学校国語は第4・5学年、算数は第1・4・5・6学年、中学校国語は第2学年であった。

○令和3年度全国学力・学習状況調査 児童生徒質問紙において、小学校及び中学校の家庭学習の時間は全国平均値と比較し、下回った。（小学校▲0.9%、中学校▲9.3%）

○生徒指導上の諸問題において、令和3年度不登校児童生徒の割合は、小学校0.86%（6人）、中学校5.08%（18人）である。

（令和2年度不登校児童生徒の割合 小学校0.69%（5人）、中学校3.33%（13人））

○令和3年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合は、38.9%である。

（令和元年度体力・運動能力調査の全国平均以上の種目数の割合 61.8%）

「運動やスポーツが好き」に対して、肯定的に答える児童生徒の割合は、小・中学校とも広島県の結果数値を全て上回った。（小学校男子+2.0%、女子+9.5%、中学校男子+3.8%、女子+6.5%）

【生涯学習】

○令和3年度の生涯学習講演会、市美術展、ふれあいコンサートの来場者について「とても満足した」の割合は、52%であった。（来場者アンケート）※人権学習講演会中止

○スポーツセンターの令和3年度利用者数は18,006人、総合運動公園の利用者数は、7,283人である。

○図書館の令和3年度年間貸出数は63,617冊、来館者数は26,966人である。

（大柵図書室は令和2年度～4年度中休館のため含まない。）

【里海教育】

○さとうみ科学館の令和3年度来館者数は、2,034人である。

（館外事業・入館事業を含む総利用者数は、3,122人である。）

IV 目標及び取組

	中期経営目標	短期経営目標	具体的な取組・方策
学校教育	信頼される学校づくりを推進する。	教職員による不祥事を0(ゼロ)にする。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 服務研修の充実に向けて、校長会、教頭・事務長会において外部講師を招聘し講話を行う。 ○ 5月を「不祥事根絶強化月間」とし、教育課程の確実な実施に向けて指導助言を行う。 ○ 全児童生徒、保護者、教職員に「体罰」「セクシュアル・ハラスメント」のアンケートを毎学期実施する。 ○ 学校における「働き方改革」及び開かれた学校づくりの推進(HPの充実等)に向けて、主催研修等において指導助言を行う。
	児童生徒の学力の向上を図る。	習得した知識・技能を活用する力を向上させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的・対話的で深い学びの視点に基づいた授業改善が組織的に推進されるよう、『学びの変革』推進協議会を活用し、指導助言を行う。 ○ 教務主任研修等において、外部講師を招聘する等基礎学力向上に向けた取組を組織的に行うよう指導を行う。 ○ 家庭での学習習慣の確立に向けて、自己教育力を育成する家庭学習の取組を進め、指導助言を行う。
	児童生徒の豊かな心を育成する。	不登校児童生徒への取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 不登校やいじめ防止につながるアンケートを実施し、教育相談体制が充実するよう指導助言を行う。 ○ 不登校傾向の児童生徒の状況把握及び実態に応じた指導助言を行うとともに、不登校児童生徒の状況が改善するよう、関係者会議の開催及びSSR等の環境整備を行う。 ○ 生徒指導主事研修を活用し、不登校となった児童生徒への支援及び不登校の未然防止に係る指導助言を行う。
	児童生徒の体力向上を図る。	運動習慣の確立に向けた取組を充実させる。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校においては「体力のあゆみ」等を効果的に活用し、中学校においては、委員会活動を通じた生徒主体の体力づくりの取組を進める等、個の目標に向けて体力づくりを継続的に行えるよう指導を充実させる。 ○ 体育科授業において、体力向上に係る取組が充実するよう、主催研修及び「江田島市体力向上推進協議会」を活用し、指導助言を行う。 ○ 児童生徒の食生活が充実するよう、学校・家庭・地域が一体となった食育推進に係る指導助言を行う。
生涯学習	魅力ある事業づくりを推進する。	実施事業に対する満足感の向上を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市民ニーズを捉え、様々な学びに対する関心を高める企画内容とする。 ○ 事前準備や運営に係る調整を徹底し、円滑な運営に努める。 ○ 学校や関係団体と連携を図ると共に、市広報やSNSだけでなく、他部署の広報媒体なども活用し、PRの強化を図る。
	健康づくり、体力づくりを推進する。	公共スポーツ施設の利用促進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツ推進委員や関係団体等と連携し、総合運動公園やスポーツセンターを活用した生涯スポーツ体験会を開催する。 ○ 体育協会、eスポーツクラブ、スポーツ少年団への加入・参加を推進する。 ○ HP・広報等を活用し、社会体育施設や活動をPRする。
	図書館の充実を図る。	図書館年間貸出冊数及び来館者数の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「スタンプラリー」「読書貯金通帳」の活用や、参加型講座、読み聞かせ等の実施により、自主的な読書活動を促す。 ○ 「子ども司書」養成講座を実施する。 ○ 窓口拡大サービスや、施設利用に関するチラシ等を関係施設へ配布・掲示するなど、PRの強化に努める。
里海教育	さとうみ科学館の認知度を高める。	さとうみ科学館の利用者の増加を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ○ 土日開館(毎月1回)を試験的に実施する(実証実験)。 ○ 観察会・研修会や館内見学の実施方法を工夫することで、事業への参加や来館しやすい環境づくりを行う。 ○ 広報紙やSNS、地域おこし協力隊等の活用により、PR強化を図る。